

# 「まちのトレジャー・レポーター」

東中田市民センター

## 1 事業概要

東中田市民センターでは、平成29年に完成した地域の「お宝マップ」を利用してまち歩き講座を毎年開催し、地域への理解を深める機会としてきました。そのお宝マップを元に、映像と音声解説による、より使いやすい地域紹介ツールを複数年かけて制作します。



内容は、地域の小・中学生が「トレジャー・レポーター」として、まちのお宝を紹介します。

作品はDVDとして配付し、学校や町内会等の行事で放映し、地域の方に東中田地域の

「トレジャー（お宝）」や活動そのものを知っていただく機会を増やすよう働きかけていきます。制作には学校との連携のみならず、町内会等から地域の大人の方も参加していますので、これらの活動を通して、地域の団体が同じ目的に向かって連携を深めていく機会となるよう、地域団体連携促進事業としても取り組んでいます。

## 2 今年度の活動

参加者：袋原中学校1年生4名、四郎丸小学校5年生5名、  
東四郎丸小5年生3名、袋原小学校6年生1名  
町内会等地域の大人スタッフ6名



第1回：7月24日 発声やインタビュー、レポートの仕方など〔講師 フリーアナウンサー 宮田敬子氏〕

第2回：10月16日 地域のお宝(=トレジャー)についての説明〔講師 「かっこ語り」の皆さん〕

第3回：10月23日 取材の仕方や文章のまとめ方〔講師 河北新報社 丹野綾子記者〕

第4回～：11月20日～ 映像作品の作り方や撮影・編集などの指導を受け、作品制作

〔講師 東北大学講師 窪俊一氏 アシスタント 菅原佑一氏、庄子功雄氏〕

## 3 成果と課題

自分の住んでいる地域の「お宝」でも、ほとんど知らなかった場所や物を知り、紹介するために、全メンバーが一生懸命取り組んでいます。7月から開始し、長い活動となっていますが、ほぼ全員が毎回出席です。自分でカメラを持ち、編集して作品を作るなど、学校生活ではあまりできないことを体験できる機会となっています。



2グループに分かれて活動していますが、まだ、他の学校のメンバーと活発に話し合いをすることは難しい状況です。コロナ禍で、日頃「話をする」ことを控えていることも若干影響しているように思われますが、次年度は、講座開始時に交流タイムなどを設け、グループの話し合いや活動がスムーズに行くよう組立を考えています。

## 4 今後の展望

令和3年度末までに連携団体の方への試写会を行い、令和4年度の方向性や作品の活用方法など、感想や意見交換の場とする予定です。試写会の後、「トレジャー・レポーター」による地域への発表会を行うと同時に新たな「レポーター」やスタッフを募り、人材の拡充を図ります。

令和4年度も作品制作を継続し、お宝マップに掲載されているスポットをできる限り網羅しつつ、新たなスポットの発掘にも努めていきます。

